

# 癒された傷

2010/4/11

# キリストの痛み・苦しみ

- ▶ キリストは激しい痛みと苦しみを経て死なれた
  - 贖罪のためには必要なかったのではないだろうか？
- ▶ ではなぜキリストは安楽な死ではなく、誰も味わったことのない苦痛を伴う死を選ばれたのか
  - 肉体的・精神的・霊的な極限の苦痛
- ▶ それは、人間の苦痛を担い、癒すためであった
  - 「彼が担ったのはわたしたちの病／彼が負ったのはわたしたちの痛みであった。彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。」〈イザヤ書53:4-5〉

# 成長するための癒し

## ▶ ペトロの大失敗

- イエス様の予言(警告)

- ▶ 「あなたは、今日、今夜、鶏が二度鳴く前に、三度わたしのことを知らないと言うだろう。」

- ペトロの啖呵(たんか)

- ▶ 「たとえ、御一緒に死なねばならなくなっても、あなたのことを知らないなどとは決して申しません。」

- ペトロの裏切り

- ▶ 「ペトロは呪いの言葉さえ口にしながら、『あなたがたの言っているそんな人は知らない』と誓い始めた。」

# 成長するための癒し

## ▶ 癒しと回復のプロセス

### ■ 後悔

- ▶ 「イエスが言われた言葉を思い出して、いきなり泣きだした。」

### ■ ガリラヤ湖での再会〈ヨハネ21章〉

- ▶ 「シモン・ペトロは『主だ』と聞くと、裸同然だったので、上着をまとって湖に飛び込んだ。」〈21:7〉

### ■ ペトロの再召命

- ▶ 「三度目にイエスは言われた。『ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。』ペトロは、イエスが三度目も、『わたしを愛しているか』と言われたので、悲しくなった。そして言った。『主よ、あなたは何もかもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。』イエスは言われた。『わたしの羊を飼いなさい。』」  
〈21:15-18〉

# キリストによる癒し

- ▶ 癒しによって私たちの傷は意味を持つ
  - 自らの失敗をすべての福音書に記録されたペトロ
  - 教会のリーダーとなったのは、キリストに赦され、癒されたからであることを忘れなかった
- ▶ 痛みや苦しみから解放されるだけではない
  - 傷ついたからこそ獲得できることがある
  - 傷つき癒されることによって成長する
  - キリストの体に刻まれた傷跡は、その証である

# イザヤ書 30:26

主が民の傷を包み  
重い打ち傷をいやされる日  
月の光は太陽の光になり  
太陽の光は七倍になり  
七つの日の光となる。